

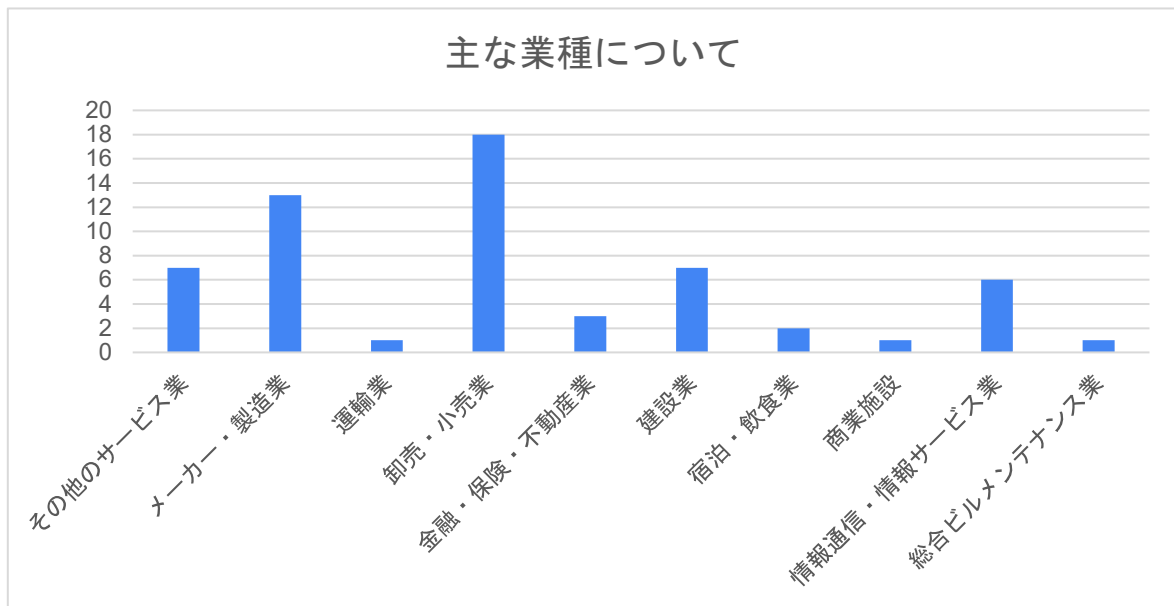
令和6年8月25日～26日の大雨
被害状況調査報告書

令和6(2024)年9月4日

 宇都宮商工会議所

調査概要

- 1 調査目的** 令和6(2024)年8月25日(日)～26日(月)に発生した大雨による宇都宮商工会議所管内の被害状況を調査し、必要に応じて行政等への働きかけや、当所事業活動に繋げていくため。
- 2 調査期間** 令和6(2024)年8月27日(火)～9月2日(月)
- 3 調査対象** 約750件
(当所役員・議員、部会役員・評議員、青年部、女性部 ほか)
- 4 調査方法** 調査票をメールまたはFAXにて送信し、WEB、メール、FAXで回答
- 5 回答数** 60社(回答率8%)
- 6 回答企業の業種構成**



7 調査票 最終頁に添付

【参考(本大雨の概要)】

発 生 日 令和6(2024)年8月25日(日)夜から26日未明

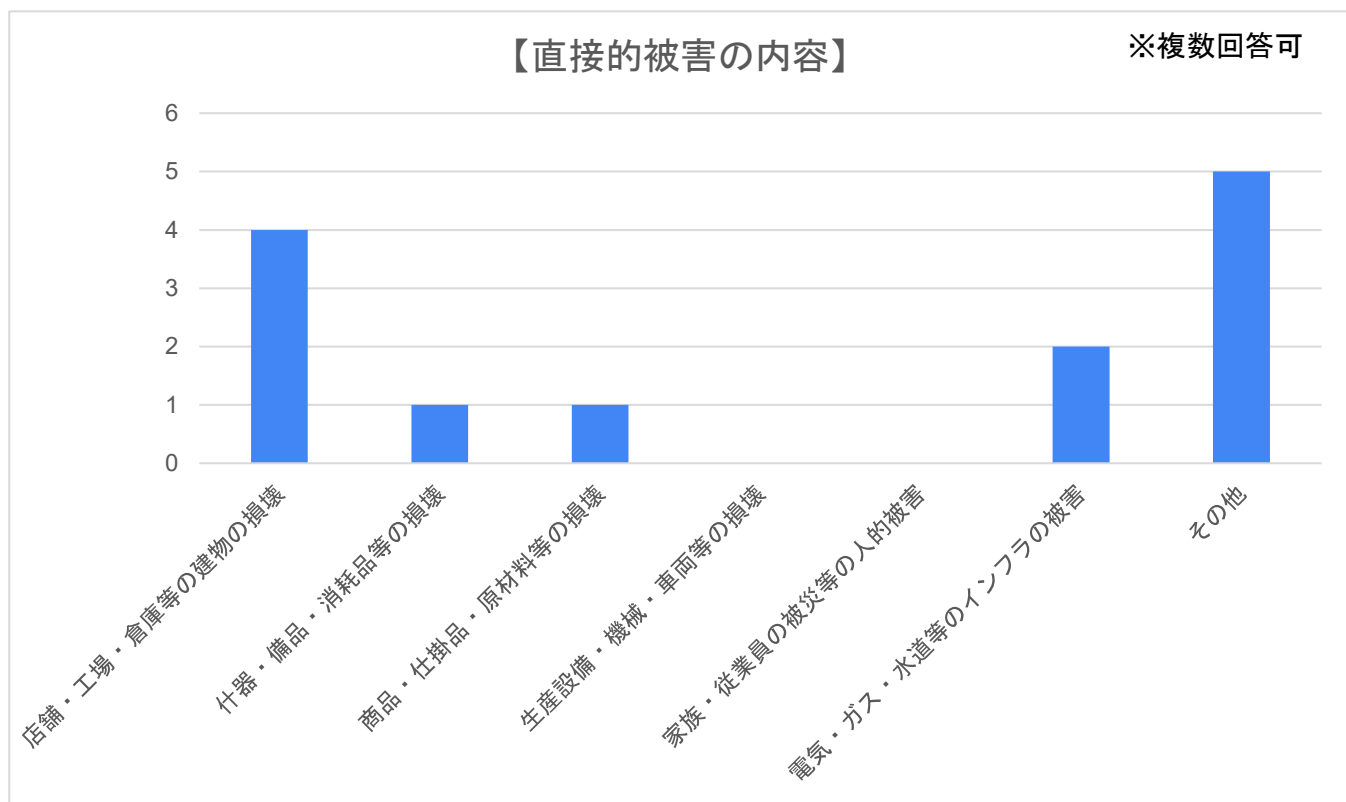
概 要 宇都宮地方気象台によると、塩谷町では8月25日午後11時23分までの1時間に、観測史上最多となる103.5mmの降水量を記録した。気象庁は、塩谷町と鹿沼市付近に記録的短時間大雨情報を発表。宇都宮地方気象台と栃木県は、宇都宮市や大田原市、矢板市など8市町に避難が必要とされる土砂災害警戒情報を発表。宇都宮市、鹿沼市、那須塩原市の3市は、一部地域の計1万世帯超、2万5872人を対象に避難指示を出し、8市町で最大37人が避難した。鹿沼市、日光市、那須塩原市、塩谷町の4市町の住宅計21棟が床下・床上浸水し、土砂流出や冠水による通行止めが相次いだ。けが人は確認されていない。

<下野新聞(令和6年8月27日付記事)より抜粋>

調査結果

1 直接的被害の有無

直接的被害があったと答えた事業所は、11社であった。

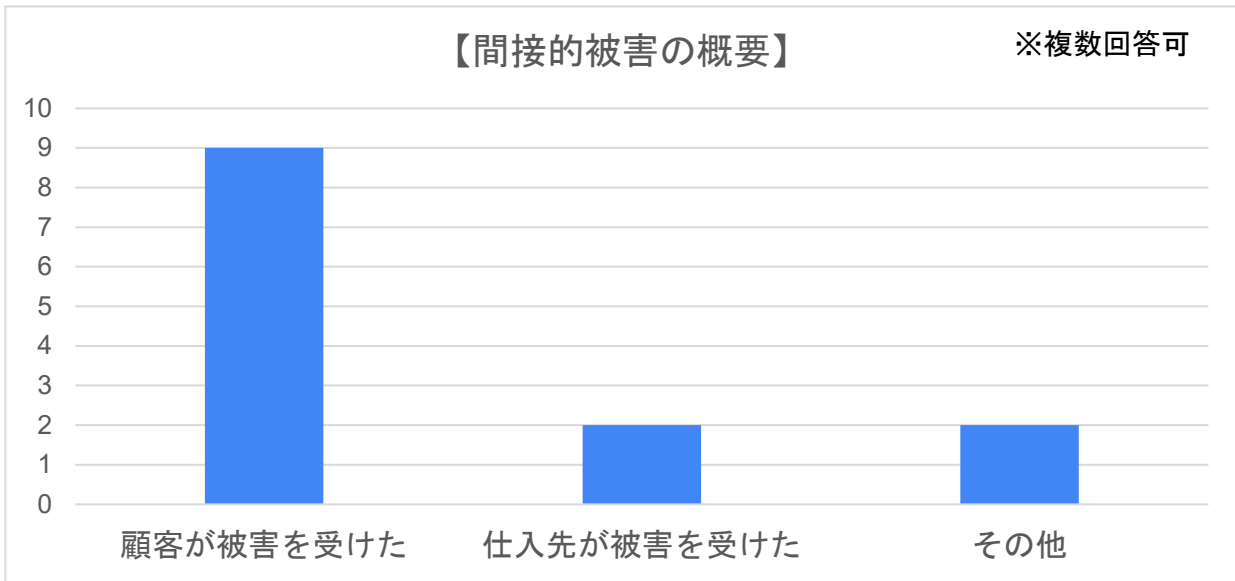


【被害の詳細（想定される被災総額）】

- ・店舗内の雨漏れ（8か所）【不動産業】
- ・店舗・工場・倉庫等の建物の損壊，電気・ガス・水道等のインフラの被害【サービス業】
（被害額：1,000万円）
- ・什器・備品・消耗品等の損壊，商品・仕掛品・原材料等の損壊【製造業】
（被害額10万円）
- ・排水のオーバーフローによる水漏れ（地下で水漏れ）【宿泊業】
- ・浸水、防犯カメラの故障【製造業】
- ・電気・ガス・水道等のインフラの被害（停電による乾燥炉・熱処理炉の稼働停止）
【製造業】
- ・店舗・工場・倉庫等の建物の損壊（工場の屋根の一部損壊）【製造業】（被害額：10万円）
- ・店舗内の雨漏れ（7か所）【小売業】
- ・工場内排水溝から水があふれ、浸水【製造業】
- ・床から水が湧き出た。【小売業】
- ・工場1階が床上浸水【製造業】（被害額：不明）

2 間接的被害の有無

間接的被害があったと答えた事業所は、12社であった。



【被害の詳細】

- ・顧客の商品が被害を受けた。【不動産業】
- ・管理している複数の施設で浸水被害が発生した。【総合ビルメンテナンス業】
- ・地下駐車場が冠水し、顧客が駐車できなくなった。【宿泊業】
- ・顧客建物の被害の対応に従事【その他サービス業】
- ・一部地域で、新聞の配達の遅れや配達できない状況が発生【情報サービス業】
- ・旅行の取り消しによる売り上げ減少【旅行業】
- ・物流の遅延【製造業】
- ・青果物卸売における生産・出荷への影響【卸売業】

3 商工会議所・行政等への意見要望や今後懸念されること

- ・雨水管、排水柵の拡充。既に異常気象が通常気象となりつつある中、既存インフラでは瞬間降雨量に耐えられないのでは、という危惧がある。【不動産業】
- ・大雨により、修繕に費用と時間がかかり、お客様に迷惑をかける懸念【サービス業】
- ・災害等で被害があった時の助成を希望する。【サービス業】
- ・今後は大型台風の上陸、猛暑、ゲリラ豪雨、線状降水帯の出現が心配【建設業】
- ・2019年に発生した田川氾濫を教訓にしてほしい。【小売業】
- ・河川の水位状況や住宅地の浸水状況を Web カメラで一括収集できる情報がほしい（過去、浸水被害が多い地区など）社員の居住地区情報がわかると安心である。【情報サービス業】
- ・アンダーパス等の通行止めと、古い擁壁、側溝や暗渠の点検をお願いしたい。【建設業】
- ・ゲリラ豪雨対策の為の補助金を作ってほしい。【宿泊業】
- ・迅速な情報提供、会員内での連携強化などが出来るのであれば要望したい。【小売業】
- ・建物修繕費助成金等があれば知りたい。【小売業】
- ・道路の側溝や小さな水路などのメンテナンスが必要ではないか。会社の近くでも道路が冠水した箇所があった模様である。【製造業】

4 その他

- ・温暖化により亜熱帯気候になっているように感じる。（特に夏は）【小売業】
- ・何が有ってもおかしくないと危機意識を新たにした。【卸売業】
- ・通勤時の往路が、帰宅時使えない時の対処をアナウンス出来ないか。【建設業】

総 括

令和6年8月25日～26日に発生した大雨による被害を調査した結果、宇都宮商工会議所管内において、直接的な被害は11社から回答があり、被害内容は、建物（店舗・工場）への浸水や雨漏り被害が多くを占めた。

間接的な被害は、12社から回答があり、浸水や雨漏りによる顧客への影響や、予約の取り直し、物流の停滞による商品の納期遅延等、様々な被害の報告があった。

行政への意見要望については、冠水した道路の迅速な情報発信や、建物修繕等への補助金の要望があった。

また、当所・行政等への意見要望については、会員向けの情報提供や会員企業の連携強化などの要望があった。

宇都宮商工会議所 令和6年8月25日～26日の大雨に伴う被害状況調査

【FAX 返信先 028-634-8694】

【メール返信先 soumu@u-cci.or.jp】

WEB 入力はこちらから→



日頃より、当所事業にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて当所では、この度の大雨による被害や影響について調査し、必要に応じて行政等への働きかけや当所事業に繋がりたいと考えています。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、当調査にご協力くださるようお願い申し上げます。

なお本調査は、役員・議員、部会役員、青年部、女性部へご依頼しておりますので、ご依頼が重複した場合は何卒ご容赦ください。 ※被害や影響がない場合は、返送は不要です。

<回答期限>

9/2(月)まで

貴社の業種について該当するものに○をつけてください

事業所名 (非公開)		回答者名	
		電話番号	
業 種 (主なもの)	建設業		宿泊・飲食業
	メーカー・製造業		介護・看護業
	卸売・小売業		金融・保険・不動産業
	情報通信・情報サービス業		その他のサービス業
	運輸業		その他 ()

8/25～8/26 の大雨による被害について該当するものに○をつけてください (複数回答可)

回答欄	
	直接的な被害があった (自社の支店や工場、倉庫などへの被害)
	間接的な被害があった (取引先などへの被害)

(直接的な被害があった方) 具体的な被害について該当するものに○をつけてください (複数回答可)

回答欄	選択肢	▶	被害の詳細
	店舗・工場・倉庫等の建物の損壊		
	什器・備品・消耗品等の損壊		
	商品・仕掛品・原材料等の損壊		
	生産設備・機械・車両等の損壊		
	家族・従業員の被災等の人的被害		
	電気・ガス・水道インフラの被害		
	その他の被害		想定される被害総額

(間接的な被害があった方) 具体的な被害について該当するものに○をつけてください (複数回答可)

回答欄	選択肢	▶	間接的被害による自社への影響
	顧客が被害を受けた		
	仕入先が被害を受けた		
	その他 ()		

今後懸念される事項や、行政機関・商工会議所等へのご意見・ご要望があればご記入ください

ご協力ありがとうございました。

【お問い合わせ】総務部 鈴木(千)・岡崎 TEL(028)637-3131